

令和7年度 鹿屋体育大学 社会人選抜 小論文試験問題

文部科学省は2012年に「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査結果」を公表しており、その中で「知的発達に遅れはないものの学習面又は行動面で著しい困難を示す」とされる小学生及び中学生の割合が6.5%だったことを報告している。また、10年後の2022年に同様の調査を再度実施した結果、8.8%であることが報告されている。

以上の2つの調査結果から、どのようなことが考えられるかについて述べてください。また、「知的発達に遅れはないものの学習面又は行動面で著しい困難を示す」とされる小学生や中学生に対して、スポーツや運動を通してどのような働きかけが実施できるかについてあなたの考えを述べてください。

540字以上かつ660字以内で解答してください。